(単位:千円)

(E/L/ LTXPL PP/				(井 111)
主要な施策	予 算 額	決算額	施 策 の 成 果	目 名
1 令和2年7月豪雨からの創造的復興 【施策1】被災者・被災地域の1日も早い復 旧・復興に向けた取組み 施策1-②なりわい(生業)・産業の再生と 創出	232, 881	84, 737	1 被災地域産業再興支援事業 被災地の合意形成を図りながら、より実効性の高いプロモーションや観光客受入環境整備等 を実施した。 ・人吉・球磨豪雨被災地観光DX推進事業、小国郷観光リバイバル支援事業及び水俣・芦北豪 雨被災地観光復興支援事業の実施	観光費のうち P312
施策1一④地域の魅力の向上と誇りの回復	37, 000	29, 636	1 コンテンツを活用した活力創造事業(地方創生推進交付金活用) 人吉・球磨地域がモデル地となっているアニメ「夏目友人帳」と連携した魅力発信動画の配信を行うとともに、初の公式となるスタンプラリーを実施し県内外からの誘客促進を行った。 2 Kumaラボ(観光物産分野)先行取組運営事業(地方創生推進交付金活用) 産学官の多様なプレーヤーが集まり意見交換する場として「観光ラボ」及び「コンテンツラボ」を立ち上げ、新たな旅行商品や観光コンテンツ開発に向けた研究・実証等に取り組んだ。	観光費のうち P311~P312
2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応 に 【施策1】感染症対策の体制強化 施策1一①感染拡大防止対策及び相談・検 査体制等の確保	2, 451, 647	1, 092, 369	1 飲食店認証取得促進事業 県認証制度の基準に沿った衛生管理設備導入等に取り組む飲食店を支援するための補助事業 を実施した(補助件数:2,902件)。	商業総務費のうち P295
【施策3】持続可能な経済活動の実現施策3-②新しいビジネスの創出	83, 254	69, 313	1 県産農林水産物等輸出推進総合支援事業 輸出に取り組む県内事業者等の掘り起こしから輸出に至るまでを総合的に支援した。 ・輸出拡大アドバイザーによる輸出に取り組む生産者等への助言や集合研修等を実施(4回) ・JAグループの輸出展開活動(海外での販促フェア、展示商談会への参加等)を支援 ・輸出促進相談員を設置し輸出に取り組む事業者の掘り起こし等を実施(83件訪問) 2 海外輸出拡大対策事業 農林水産物等の需要回復に向け、現地消費者のニーズに沿った輸出展開等を実施した。 ・「物産」と「観光」を連携させたVR映像を活用した体験型による現地プロモーションを実施 ・海外の飲食店、小売店、イベントで県産農林水産物等の販促PRを展開(7回) ・アジア圏等の新規国や新たな輸出品目の需要開拓に向けた市場調査を実施(2カ国)	農業総務費のうち P232~P233

(E)[] [TXP TP			-	(本位・111)
主要な施策	予 算 額	決 算 額	施策の成果	目 名
(施策3-②新しいビジネスの創出)			3 輸出マーケットイン販路開拓事業	農業総務費のうち
			現地ニーズ等に応じた産地形成や販路開拓を実施した。	P232~P233
			・県産青果物の輸出支援としてテスト輸出や残留農薬への対応、現地バイヤーとのオンライン	
			意見交換を実施	
			・県産アリウムの輸出産地支援として国際展示会へ出展し、オンラインでの商談を実施	
			4 海外展開推進体制整備事業	商業総務費のうち
			現地事情に精通し、県内企業の課題解決の支援が可能なスポットアドバイザーを選任し、県	P294~P295
			内企業の海外進出を支援した(アドバイザー利用可能地域:シンガポール、香港、台湾、フィ	
			リピン、タイ)	
施策3-③農林水産業の持続的発展	75, 186	63, 615	1 県産農林水産物等輸出推進総合支援事業(再掲)(P78 に記載)	農業総務費のうち
			2 海外輸出拡大対策事業(再掲)(P78 に記載)	P232~P233
			3 輸出マーケットイン販路開拓事業(再掲)(P79 に記載)	
施策3一④新たな観光スタイルの確立	6, 221, 380	6, 040, 820	1 県産農林水産物等輸出推進総合支援事業(再掲)(P78 に記載)	農業総務費のうち
			2 海外輸出拡大対策事業(再掲)(P78 に記載)	P232~P233
			3 海外展開推進体制整備事業(再掲)(P79に記載)	商業総務費のうち
			4 県産品販路開拓事業	P294~P295
			各地域の特産品等を一堂に集めるくまもと物産フェアや県外バイヤーをターゲットとした商	
			談会を開催した。	
			・くまもと物産フェア:リアル(参加企業数:72 社、来場者数:6,826 人)	
			オンライン(参加企業数 : 106 社)	
			・くまもと逸品オンライン商談会:参加バイヤー:7社、参加事業者数:26 社	
			5 物産振興事業	
			熊本県物産館において、県産品のPRやマーケティングの場を提供するとともに、百貨店・	
			量販店のバイヤーへ情報発信を行い、県産品製造業者の商品力向上や販路開拓を図った。	
			6 マーケット拡大支援事業	
			県内事業者に対し農商工連携により新商品を開発しテストマーケティングや商談会等へ出展	
			する際の経費等の一部を支援した。(補助事業者7社)	
			7 県産品販路回復支援事業	
			くまもと物産フェアオンラインでの送料無料キャンペーンや熊本県物産振興協会のECサイ	
			トでの送料無料及びポイント還元キャンペーンを実施した。	
			・くまもと物産フェア:参加企業数 106 社、ECサイト販促キャンペーン注文:1,483 件	

(単位:千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目	名
(施策3-④新たな観光スタイルの確立)			8 e-コマースの強化による雇用創出事業(新規)	商業総務費	のうち
			ウィズコロナに対応した販路の多角化と雇用創出のため、コロナ禍による深刻な打撃を受け	P 295	
			た小規模事業者へ IT 専門家を派遣し、HP や EC サイトの開設等 e-コマースの導入を支援した。		
			・支援件数:76 件、新規雇用者数:7人		
			9 宿泊事業者による感染防止対策等支援事業	観光費のう	ち
			新たな観光スタイルをいち早く確立するため、宿泊事業者が行う感染症対策や前向きな投資	P311~P3	12
			への助成を実施した。(補助件数 666 件・約 13 億円)		
			10 スポーツツーリズム活性化事業(地方創生推進交付金活用)		
			スポーツ大会の開催や合宿誘致のみならず、温泉や健康、ITとの相乗効果を狙った、新た		
			なスポーツツーリズムを展開し、継続的な集客に繋げた。		
			・官民一体となってスポーツによる誘客を推進するスポーツコミッションを設立		
			・スポーツツーリズムの商品開発、オンラインマラソン大会の実施		
			・サイクルツーリズムの推進のためのサイクルスタンドの設置		
			11 くまもっと観光地域応援社発展事業(地方創生推進交付金活用)		
			観光客の多様なニーズに対応するため、県内3地区の観光協会が取り組む着地型旅行商品の		
			造成・販売等の受入環境の整備に対する支援を実施した。		
			12 阿蘇観光未来創造ツアーモデル事業(地方創生推進交付金活用)		
			顔認証システムを導入し、ニューノーマルな観光スタイルの実現を目指すため、熊本県観光		
			予約サイト「くまもっと旅行社。」にて旅行商品を販売する実証実験を実施した(3ヶ月間、約		
			900 名を集客)。また、周遊観光促進や旅行中の観光動態分析のため、レコメンド情報を配信し		
			た。		
			13 デジタルマーケティング事業(地方創生推進交付金・企業版ふるさと納税活用)		
			デジタルを活用したプロモーションにより本県観光の魅力を効果的に発信するとともに、マ		
			ーケティングデータの収集・分析を実施した。		
			14 スマート観光提案型システム構築事業(地方創生推進交付金活用)		
			旅行会社への営業ツールシステム構築に向け、事業者との協議を実施した。		
			15 スマート観光交通体系構築推進事業(地方創生推進交付金・企業版ふるさと納税活用)		
			観光 MaaS に係る地域の関係者の認識の統一を図るとともに、阿蘇地域で実証事業を行い、二		
			次交通や観光消費増加に関する課題を抽出した。		
			16 地域の活性化を牽引する観光産業創造事業(地方創生推進交付金活用)		
			地域活性化事業(小国町の宿泊施設の貴賓室(露天風呂)の高質化)を支援した。		

主要な施策	予 算 額	決算額	施策の成果	目。	名
(施策3一④新たな観光スタイルの確立)			17 プロスポーツによる地域活性化事業 (企業版ふるさと納税活用) 県内プロスポーツ3チーム (ロアッソ熊本・熊本ヴォルターズ・火の国サラマンダーズ) において、ファン獲得のためのホーム試合無料招待、アウェー試合での熊本PR等を行った。 18 「がんばろう!熊本」観光復興事業 (企業版ふるさと納税活用) 各種媒体を活用した広報及び交通事業者と連携したプロモーション等を実施した。・ RR 熊本駅前及び西鉄天神バスターミナル内のデジタルサイネージを活用した観光情報を発信・ RR 九州、RT 西日本、JAL、FDA、NEXCO 西日本等と連携した誘客を促進 19 国内誘致対策事業 (企業版ふるさと納税活用) 県内各地域及び東京・大阪・福岡事務所と連携した観光PRや県内各地域の着地型旅行商品の発掘と磨き上げを行った。 また、本県の地理的優位性を活かし、九州各県と連携した広域的な誘客事業を実施した。・ 着地型旅行商品を観光予約サイト「くまもっと旅行社。」で販売(利用人数:延べ6,307人)・ 県外の飲食店等を「くまもっとうまか応援店」に認定し、観光及び県産品情報を発信 (大阪事務所管内:20店舗、福岡事務所管内:48店舗を認定)・ 九州横断三県 (熊本・長崎・大分) 及び南九州三県 (熊本・宮崎・鹿児島) で連携し、旅行商品の造成・販売への支援及びデジタルスタンプラリーの実施など誘客事業を実施20 教育旅行誘致推進事業 (企業版ふるさと納税活用) 熊本地震等で落ち込んだ教育旅行の需要回復を図るため、県外からの新規校の誘致に当たり、宿泊費又はバス費用を支援した。(宿泊費:2,000円/人、バス助成:50,000円/台。交付校数:52校、延べ宿泊者数13,802人) 21 震災ミュージアム活用教育旅行誘致事業 (地方創生推進交付金活用) 熊本地震を教訓とした教育旅行プログラムを紹介するバンフレットを制作した。また、全国の学校関係者・旅行社向けオンラインモニターツアーを実施した。(120名参加) プログラムコーディネーター事業(地方創生推進交付金活用)教育旅行のプログラムコーディネーター事業(地方創生推進交付金活用)教育旅行のプログラムコーディネーター事業(地方創生推進交付金活用)教育旅行のプログラムコーディネーター事業(地方創生推進交付金・企業版ふるさと納税活用) 令和2年7月豪雨災害の被災地域を対象に、新たな観光商品・メニュー開発を行う民間事業者等に対する支援を実施した。(7事業者を支援)	観光費のうち P311~P312	

(単位:千円)

主要な施策	予 算 額	決算額	施策の成果	目	名
(施策3-④新たな観光スタイルの確立)			24 「くまもと再発見の旅」事業・県内宿泊応援キャンペーン 新型コロナウイルスにより甚大な影響を受けている宿泊事業者等を支援し、県経済の早期回復を後押しするため、県内及び隣県(福岡県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県)居住者を対象に、宿泊・日帰り旅行の助成及び地域限定クーボンを配布した。 ・1人1治当たり(日帰り旅行は1人当たり)最大5,000円を助成・実績等 第1弾〜第4弾で合計:504,399人 ※令和4年度も継続して実施中。 25 豪雨被災地送客促進事業令和2年7月豪雨被災地域への旅行者の送客促進を目的に、観光バス及びレンタカー等の利用に対する助成を実施した。・実績観光バス:74台(令和3年10月18日〜令和4年1月23日)レンタカー:278台(令和3年10月18日〜令和4年1月22日) 26 インパウンド誘致推進事業SNS等を活用した情報発信、オンラインを活用した海外旅行会社との商談会等を実施した。・5言語の公式フェイスブック(フォロワー計5.5万人)による定期的な情報発信を継続・台湾旅行会社19社と県内観光事業者30団体によるオンライン商談会を開催・東南アジアアか国の旅行会社等(67団体/約130名)に向けたウエビナーを実施ワーケーションの普及に向けて、官民4者での連携協定(県、環境省九州地方環境事務所、(一社)はalogue、機くまもとDMC)を締結した。また、阿蘇及び天草地域におけるワーケーションモデルコースを策定するとともに、首都圏を中心とした企業12社のモニターツアーを実施した。その結果を踏まえモデルコースを磨き上げ、セールスツールとして企業向けのパンフレットを作成した。 28 クルーズ船寄港による経済効果促進事業運航が再開している日本船社に対して積極的に誘致活動を実施し、令和4年1月の「にっぽん丸」の寄港実現、令和4年度の複数の入港予約に繋がった。さらに、コロナ収束後の寄港を見据えて外国船社等にもオンライン等によるPRを実施した。また、県民限定としていたくまモンボート八代の利用を令和3年10月から県外客の受入れも開始し、令和3年度は3万人超が来場した。	観光費のう [*] P311~P3.	

				(十四・111)
主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目 名
主 安 な ル 東 3 熊本地震からの創造的復興 【施策2】創造的復興の推進 施策2-②くまもとの誇りの回復と宝の継 承	1,246,386		ル	
			金活用) 震災ミュージアム中核拠点(旧東海大学阿蘇キャンパス)の体験・展示施設の整備に向けて、次の事業を実施した。 (1) 体験・展示施設の実施設計 建築工事及び外構工事並びに展示等コンテンツの制作に関する実施設計を実施 (2) 体験・展示施設の整備工事 既存建屋の解体等関連工事を実施の上、施設の建築工事請負契約の締結及び建築工事に先立って実施する外構工事に着手	
施策 2 一③阿蘇地域の振興	150, 000	147, 713	1 熊本地震からの阿蘇地域の観光創生事業 阿蘇市における「竹あかり」イベントの実施やPR動画の公開のほか、「クレヨンしんちゃん」のスタンプラリーを実施した。 ・「阿蘇竹あかり」の開催:令和3年12月30日~令和4年3月21日開催、計18,017名来場・PR動画「阿蘇の不時着」:令和3年10月1日公開、総再生回数約107万回・「クレヨンしんちゃん」デジタルスタンプラリー:登録数9,120名、総スタンプ数24,085個	観光費のうち P312

(単位:千円)

		1		(中位:1	
主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目	名
4 将来に向けた地方創生の取組み【施策4】 魅力ある地域づくり 施策4一②持続可能な地域づくり	122, 832	114, 595	1 伝統工芸情報発信事業 工芸家と技術に焦点を当てた映像を制作し、YouTube 等で情報発信を行った。 ・映像を制作した伝統工芸品:人吉球階刃物、刀剣、手漉き和紙、高田焼 2 くまもとで乾杯!県産酒推進事業 くまもと県産酒の知名度向上・消費拡大を図るため、日本酒等の県産酒データベースの作成やオンラインWEB マガジンの配信等を実施した。 ・オンラインセミナー実施回数:2回、参加者数:約140名 3 県産酒消費回復支援事業 家庭内需要を喚起する「くまもと県産酒で乾杯しよう!キャンペーン」を実施した。 ・参加店舗数:約200店舗、応募総数:約48,000件 4 伝統工芸品販路開拓支援事業(地方創生推進交付金活用)顧客ニーズや新しい発想を取り入れた商品開発、ECサイトを通じた販路拡大等を実施した。・新商品開発:7事業者、ECサイト市用:12事業者 5 球磨焼酎リブランディング事業(地方創生推進交付金、企業版ふるさと納稅活用) 球磨焼酎リブランディング事業(地方創生推進交付金、企業版ふるさと納稅活用) 球磨焼酎リブランディング事業(地方創生推進交付金、企業版ふるさと納稅活用) 球磨焼酎と大きが一般であり、球磨焼酎の更なる発展の実現に向けた取組みを実施した。・蔵元との連携:研修会の実施(3回)、消費者及び飲食店向けマーケティング調査、球磨焼酎データベースの作成、展示会出展・商談会開催(東京、大阪)・誘客促進:熊本大学と連携した酒蔵体験の磨き上げ、旅行会社向けの商談会の実施等・蔵元への支援:商品開発やコンペティション出展に係る補助:9件 6 広域的な観光地域づくり支援事業(地方創生推進交付金活用) 民間団体(DMO)の活力を最大限に活かし、コロナ禍を踏まえた広域的な観光地域づくりの継続的展開を支援するための補助事業を実施した。(補助実績:1件、30,000千円)		95